

准教授 舌間 孝一郎 / コンクリート研究室

主な研究内容と目指す将来像

社会を支える社会基盤に使われる建設材料全般を研究対象にします。特に、老朽化が問題となっている鉄筋コンクリート(RC)構造物の高耐久化、検査技術、メンテナンス技術などに着目した研究を行い、社会基盤の維持管理費の縮減を目指しています。

研究キーワード

鉄筋コンクリート構造物 / ものづくり / 施工・維持管理 / 長寿命化

研究の魅力・面白さ

- ✓コンクリートは上手く使えば極めて高性能で経済的な建設材料です。しかし、まだまだ『謎』だらけで、性能を十分に発揮できているとは言えません。
- ✓研究成果は土木あるいは建築分野で広く応用が可能です。一見地味かもしれませんが、世の中に広く貢献できるのが材料研究の魅力です。



履修しておきたい推奨科目

特になし

研究室配属希望者へのメッセージ

建設材料分野には建築と土木の境界線はありません。よい建物を作るために知るべき知識や解決すべき課題は同じです。

ぜひ、「ものづくりの奥深さ／難しさ」に触れてください。その先に「ものづくりの楽しさ」があります。

様々な技術の集合で巨大な構造物を作り、それを使ってみんなの生活や命を守る。社会貢献を実感できるのが土木の魅力だと思います。

連絡先

shitama@maebashi-it.ac.jp